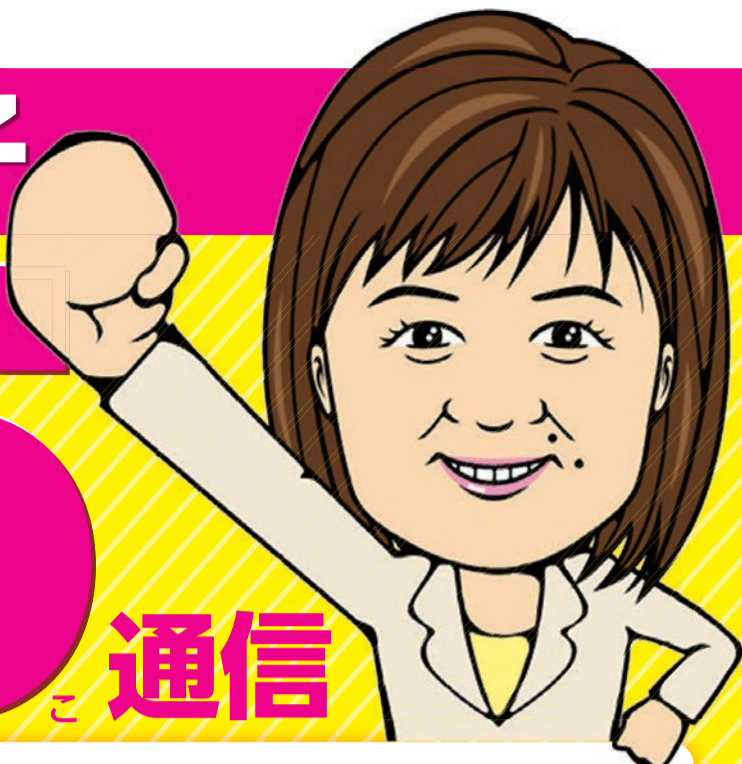


埼玉県議会議員 江原くみ子



県議会
レポート
2017年
特別号

935

通信



こんにちは!江原くみ子です。皆さまお元気ですか。一昨年の県議会議員選挙での初当選から2年が経ち、早くも折り返しとなりました。議会での所属は2年連続で「環境農林委員会」でしたが、今年度から「産業労働企業委員会」に変わります。労働福祉施策や労使関係の安定確立対策、雇用対策や商工業、中小企業の金融対策など。さらには観光資源の利用促進や科学技術の振興、また水道事業なども範囲に含まれます。気持ちも新たに頑張っていきたいと思います!特別委員会は、引き続き「自然再生・循環社会対策特別委員会」で専門性を生かしたいと思っています。

県政がまだまだ身近に感じて頂けていない現状に、歯がゆさを感じておりますが「女性の意見を県政へ!」という初心と意気込みはそのままに、県議会へ皆さまのご意見や提案をしっかりと発信していきます。そして、今後も変わらず皆さまと一緒に地道に活動して参ります。

埼玉県議会議員 江原くみ子

江原くみ子プロフィール

- 1970年11月15日生 A型 さそり座
- ◆3人兄妹の末っ子。埼玉県深谷市生まれ。
- ◆白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、深谷市立桜ヶ丘小学校、深谷市立南中学校、埼玉県立熊谷女子高等学校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉縣信用金庫で6年間勤務の後、環境問題に興味を持ち、大学入学のため退職、大阪外国語大学外国語学部(開発・環境専攻・ドイツ語専攻語)へ。ケルン大学(環境先進国であるドイツ)へ留学、法政大学大学院社会科学研究所政策科学専攻(環境コース)修了。奨学金返済中!
- ◆2004年より衆議院議員秘書
- ◆2007年～ 深谷市議会議員当選
市民環境産業委員長 歴任
- ◆2011年 埼玉県議会議員選挙出馬
11,737票頂くも、232票差で次点
- ◆2015年～ 埼玉県議会議員当選
環境農林委員会、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会委員、他

救急でんわ相談は・・・

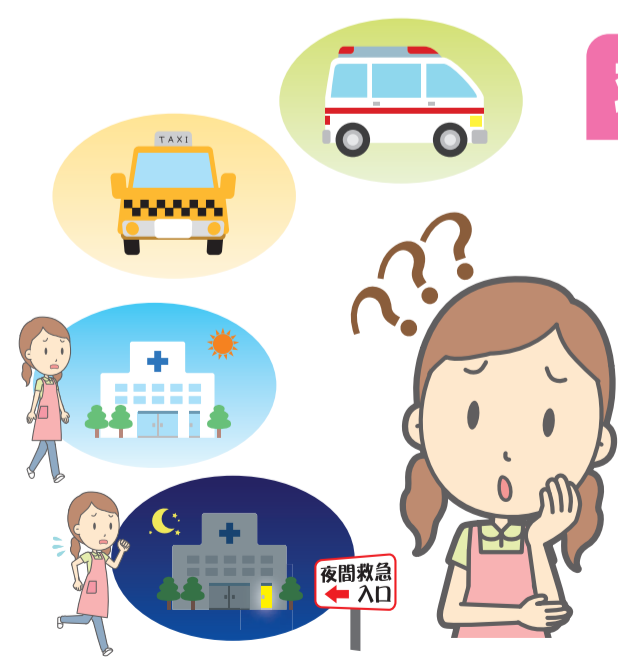
- ◎ 子ども電話相談 ▶ #8000へ!
- ◎ 大人の電話相談 ▶ #7000へ!

夜間や休日、判断に困ったら電話してください。
すぐに受診した方がよいのか、看護師が電話でアドバイスしてくれます!

※緊急・重傷の場合は迷わず119へ!

♥ 献血と同時に骨髄バンク登録をお願いします! ♥

登録できる場所は、所沢・鴻巣・川越・越谷・熊谷・川口・大宮の7カ所の献血ルームでできます。年齢18歳以上、54歳以下の健康な方。男性45kg以上、女性40kg以上であればおおむね可能です!



平成29年度埼玉県一般会計予算は 未来への投資が 重点に!

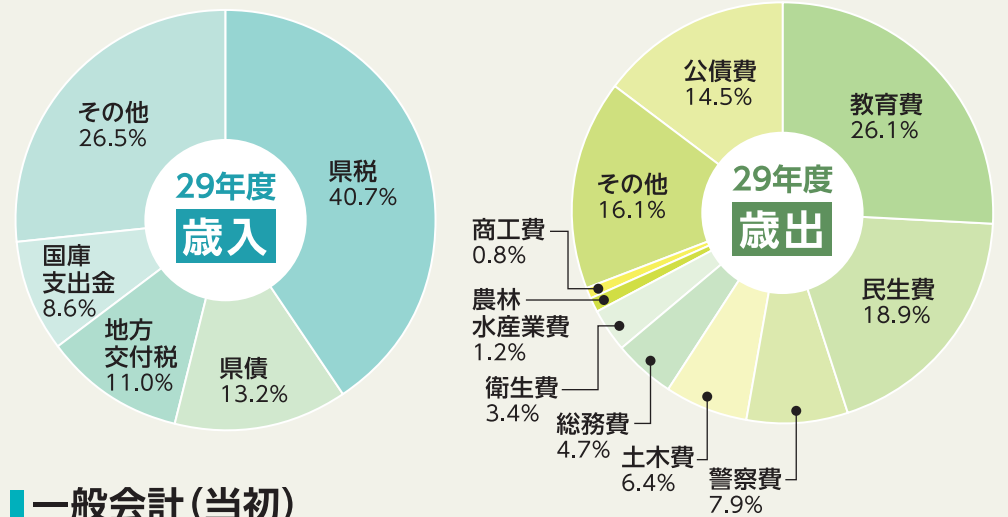
今年度は、埼玉県にとって新たな5か年経計画をスタートさせる重要な年です。5か年計画に掲げた「希望・活躍・うるおいの埼玉」を実現するため、「人口構造の変化への挑戦」「強い埼玉経済」「地域の安心・発展」の3つを『未来への投資』と位置づけ、取り組んでいくこととなりました。

ひとくち
メモ

埼玉県の県債残高の状況は?

平成29年度末の県債残高は約3兆8428億円で、前年度末に比べると、+267億円の見込みです。これは、地方交付税として交付されるべき額の不足分を、国の代わりに県が「臨時財政対策債」として借金をしていることに因ります。県が発行をコントロールできる県債残高は、平成14年度をピークに減っています。

一般会計歳入歳出款別構成比

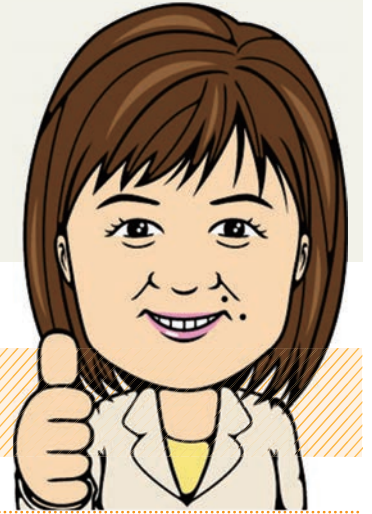


一般会計(当初)

1兆8,644億2,700万円(前年度比0.9%減)

(主な用語説明)

- ・一般会計…県の会計の中心。行政運営の基本的な経費全般
- ・県債…県の長期借入金
- ・地方交付税…所得税、法人税、消費税などの国税の一定割合を人口や面積に応じて国が交付する税。
- ・国庫支出金…特定の事業を行うため、国から交付される負担金や補助金、および委託金。
- ・公債費…過去に借り入れた県債の元金の返済や利子の支払いなどの経費。



主な事業内容

県立循環器・呼吸器病センターの 新館棟がオープン!

循環器系、呼吸器系の専門病院として、高度な医療を提供してきたセンターに、新館が3月19日からオープンしました。これにより、病床数は319から343床に増床されます。



新たな医療を展開

- ①緩和ケア病床の新設
 - ②感染症病床の新設
- さらに、人工透析室の新設
(本館棟に29年度末オープン予定)

高度・先進医療を提供

- ①呼吸器系専門集中治療室(RCU)の新設
- ②外来化学療法室の拡充
- ③手術室の移設・充実
- ④呼吸器系の一般外来を集約

快適な療養環境づくり

- ①呼吸器病棟の個室化を拡大
- ②すべてのベッドサイドに窓
- ③入院生活のサポート

◎ウエルカムベイビープロジェクト

よりきめ細かな不妊対策を展開していきます!新たな不妊検査への助成と早期不妊治療に対し、助成を拡充。

気になったらすぐに検査を!

不妊・不育症・妊娠サポートダイヤル▶048(799)3613

◎私立高校授業料の負担軽減

県内私立高校に通う生徒がいる世帯に対し、授業料が実質無償となる世帯が拡大されます。教育費の負担軽減がさらに拡充されます。

◎アクティブシニアの活躍支援

シニアが自らの希望に応じて生き生きと活躍できるよう「働くシニア応援プロジェクト」を開始。また、ボランティア講座などにより、地域デビューを後押し。

◎ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020オリンピック・パラリンピック 開催に向けて

いよいよ始まる国際的なスポーツイベントに向け、熊谷ラグビー場の施設改修や周辺環境整備などを実施。また、気運醸成のイベントが開催されます!

◎深谷市・本庄市共同提案の 「川の国はつらつプロジェクト」が採択!

県では、「川のまるごと再生プロジェクト」により、地域で川を守り、活用する動きが広がっています。この動きを更に進めるため、県内各地の水辺空間の整備拡充がおこなれます。

県農林公園(深谷市)が 『食と農を学ぶ場』に改修されます!

開園から30周年を迎える深谷市本田の県農林公園。本年度から3年かけて、段階的に改修事業が行われます。国の地方創生交付金2億9千万円を活用し、園内の野菜・果樹園を拡大し、農産物直売所を充実させることで、学習・体験や情報発信の機能を強化させます。子供から高齢者まで幅広い世代が農林業を満喫できるテーマパークへと転換がはかれることとなります。ご期待ください。



江原くみ子 一般質問

12月8日、2度目の本会議場での一般質問を行いました。質問項目は全部で8つ。以下抜粋でご報告します。

- ①シニア革命について
- ②認知症サポーターについて
- ③骨髄バンクドナー登録の推進について
- ④障がい者の歯科口腔保健について
- ⑤色覚検査について
- ⑥戦略的な広報について
- ⑦高濃度PCB廃棄物の保管と処理について
- ⑧地元問題
 - ・幡羅遺跡について
 - ・県道深谷寄居線の踏切拡幅について



骨髄バンクドナー登録の推進を!

935 昨年11月に友人でもある名古屋市会の日比議員が亡くなりました。急に体調を崩し、急性混合性白血病と診断され、臍帯血移植をしたとの報告を受けていたので、とても残念です。全国の仲間でも骨髄バンクへの登録などの活動を始めていた矢先だったので尚更でした。

埼玉県では、全国に先駆けて昨年度からドナーの経済的支援を始めました。ドナー適合となり骨髄移植となると、平均1週間必要なため、会社や仕事を休む場合の補助制度です。私は骨髄バンク登録を推進するためには、登録説明員が重要だと考えていますが、今後の県の取り組みを伺いました。また、登録年齢は54歳までなので、より若い人に登録してもらうことがポイントとなります。埼玉県の高校生の献血は全国ナンバーワンとなっており、高校生への働きかけが重要と考えるので、見解を伺いました。

A 骨髄バンクドナー登録してもらうには様々な条件があり、骨髄や造血幹細胞移植についてよく理解してもらうことが前提となります。そのため、献血会場でドナー登録を行う際の説明員の確保は重要です。この説明員は日本骨髄バンクが委嘱しますが、様々なカリキュラムをこなす必要があり、県では初めて登録説明員養成講座を開催いたします。また、引き続き大口の献血会場での登録に対応できるよう、説明員を順次養成していきます。ご指摘の高校生への働きかけに関しても県内全ての高校3年生に、卒業時に18歳からドナー登録ができることなどを働きかけていきます。

障がい者の歯科口腔保健について

935 障がい者や要介護者が直面している歯科口腔の問題を取り上げました。県内には6か所で治療を受けることができます。特殊診療台や、車いす専用ユニットなどの設備や、医師の経験や麻酔医の対応が難しいので、一般の歯科診療が難しい場合が多いのが現状です。初回は診察していただけるが、次の予約が中々取れなくて大変なことや、中には2カ月待ちとの声もいただき、質問しました。県もさまざまな取り組みを行っていますが、口腔保健センターはさいたま市にあるため、利用者の約7割がさいたま市民という状況もあります。それらの緩和対策について、また、さいたま市へセンターを開設することを働きかけていくのかについて伺いました。

A 平成13年に埼玉県歯科医師会が口腔保健センターを開設し、障害をお持ちの方に対する専門知識や経験を有する歯科医師や麻酔医が専門的な治療を行っています。また、県では専門研修を修了した歯科医師を「障害者歯科相談医」に指定し、また、障害者福祉施設に入所されている方が、歯科医療・口腔ケアを適切に受けられるよう、施設職員を対象に歯科保健に関する指導も行っています。さいたま市の口腔保健センター開設は現時点では計画はないと聞いています。しかしながら、口腔保健センターの次回予約が2カ月待ちとの状況もご指摘いただきました。なかなか別の歯科医療機関へは移れない方もいますが、一定の診療が終了後は、県内各地にいる377人の障害者歯科相談医を受診してもらえるよう工夫していきます。

高濃度PCB廃棄物の保管と処理について

935 ちょっとマニュアルな問題?ですが、環境問題に取り組んできた者として、そして、実はすごく大切な問題であると思っているPCB廃棄物について質問しました。カネミ油症事件、ご存知だと思います。このPCB廃棄物は、実はまだまだ私たちの身の回りにある(保管されている場合もある)のです。県の高濃度PCB廃棄物の処理状況と期限までに処理できるのか、そして、所在が把握できていない廃棄物をどのように把握するのか伺いました。

A 主に工場やビルなどで使用されていた電圧を変えるトランス、電気を蓄えるコンデンサー、安定器がこれに当たります。県では、立ち入り検査なども行い、適正保管や指導をおこなっています。本格的な処理は、H27年度から始まったこともあり、現在11.6%完了。安定器についてはH29年度から始まりますが、把握できたものについては期限内に処理完了の見込みです。把握できていないものについては、届け出だけでなく、大規模な状況調査をし、おおよそ把握できたものと考えています。

色覚検査について

935 皆さんは「色覚検査」を覚えていますか?私は、小学生の時に健康診断と一緒に行ったのを覚えています。実はこの色覚検査、平成15年から必須項目から削除され、今は希望者だけが個別に受ける検査となっています。日本人の場合、男子では20人に1人、女子では500人に1人の割合で見られます。決して少ない数字ではありません。そして今、色覚異常のお子さまの中には異常に気づかないまま、進学や就職を迎え、その時初めて発覚するなどのトラブルが起きています。私は、色覚検査を受けなかったことで不利益を受ける子供たちを無くすために、色覚検査を受ける子供たちを増やしていく必要があると思っています。現在は、各学校での周知の実態は把握していないのですが、まずは、保護者の方に色覚異常や検査について十分認識した上で判断しているのか、周知がどのくらい検査につながっているのかをしっかりと把握することが重要だと思いますとの質問をしました。

A 検査の実施には、人権やプライバシーに配慮し、児童生徒や保護者の同意を受け、学校医などの健康相談などで、個別に周知しております。特に、文部科学省監修「児童生徒等の健康診断マニュアル」が平成27年度に改正され、通知例なども詳細に掲載されました。それらを重ねて周知していきます。また、今後は色覚検査の実施状況については調査してまいります。

地元問題① 幡羅遺跡について

935 あまり知られていないかもしれませんが、幡羅遺跡は「郡役所」「寺院」「祭祀」の3つ揃った全国でも珍しい遺跡であり、保存状態もよく、学術上も高く評価されている遺跡です。地元としても、国の史跡をして指定されるよう努力していますが、県の支援について伺いました。

A この遺跡群は極めて高い価値があることは明らかになっています。今後、地元の深谷市・熊谷市が保存管理や活用などの方針を決め、地権者の同意を頂きながら、指定手続きを進めていくこととなります。史跡指定に向け、技術的助言や、両市間の意見調整を積極的に行い、国への働きかけをしっかりとこないます。

地元問題② 県道深谷寄居線の踏切拡幅について

935 すぐに実現するものでもありませんが、地元自治会や対話会などでも要望を多くいただいている、市議会議員時代からの懸案事項となっている通称「台坂踏切について」です。駅に近く、周辺には役所や高校もある為、歩行者だけでなく、自転車も多い踏切です。今後の見通しについて伺いました。

A 本踏切は幅員6mと狭く、車と歩行者が相互に通行するには通行しづらい状況です。まずは、踏切前後に歩道の整備が前提となります。北側は整備済ですが、南側の歩道整備は約55mの区間について、用地買収や地権者のご意向を伺いながら、早期着手に努めます。その上で、踏切拡幅について歩道整備進捗に合わせ、JRとの協議も行っていきます。

活動報告 935は輪の中へ!



●知事「とことん訪問」



●知事への要望活動



●地元行事もたくさん参加!



●環境農林委員として参加



●がんばル〜ム♪ 似顔絵をたくさん描いてもらいました!



●委員会視察・特別委員会視察



●消防団も頑張ってます!



●緑の募金活動



●マラソン頑張りました! 来年も走ります!



●成人式は姪っ子も!



●私のモットーです!



●県庁開放日です!

江原くみ子 県政事務所 お気軽にお立ち寄り下さい。

〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17 Y's Precious I 101 TEL&FAX.048-598-6706 E-mail:info@eharakumiko.net

県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

お手数おかけいたしますが、切り取ってファックスでお送りください。 FAX.048-598-6706 935通信 2017年 特別号

